

Topic 02

令和8年度に予定している上創研の取組を紹介します

昨年度、当研究所では、人口データを始め、地域の現況や特徴に関する情報を整理・分析、地域づくりの基礎的な参考情報として編集し、持続可能なまちづくりの推進に向けたワークショップでの活用や地元教育機関での授業支援のほか、施策の立案、業務改善に寄与するよう、市役所内職員向けに提供を行いました。

また、令和5年度から実施している持続可能な地区別まちづくり推進事業（以下、地区まち）においては、板倉区、中郷区で住民ワークショップを実施し、地域の現状分析や課題整理、移住定住促進に向けた検討を行ってきました。

今年度も引き続き、地域づくりの基礎となるデータの整理や分析を行うほか、地区まちを他地区にも横展開し、さらにこれまでの地区まちをステップアップさせた移住定住促進に係る実践的研究を予定しています。

1. データベースの更新と発信・活用（情報編集）

人口減少や少子高齢化、地域経済の変容など、行政が直面する課題は複雑化しています。このような状況において、限られた予算を効果的に執行するためには、根拠に基づく客観的な判断が重要な役割を果たします。

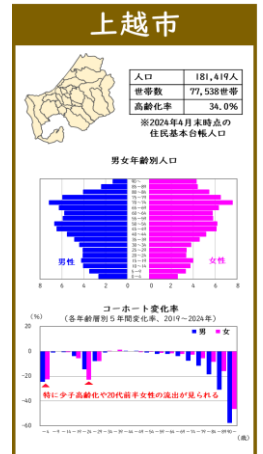
こうした背景を踏まえ、当研究所では昨年度、地域の現状を知るための情報である「人口」、「介護」、「地元関係図」をまとめた「地区別データシート」の作成や、出生動向に関するデータの公開等、エビデンスに基づく行政運営の土台作りを進めました。

令和8年度は「地区別データシート」を最新の情報に更新するほか、職員がデータに基づいた客観的かつ実効性のある政策を提案できるよう、様々な統計データを分析し、発信していく予定です。

「地区別データシート」はこちらから➡



地区別データシート
(画像は一部抜粋)



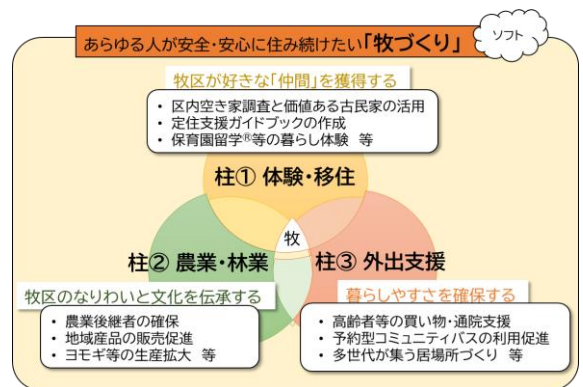
2. 地区別まちづくりの伴走支援（研究交流）

■ 牧づくりプロジェクトの推進

牧区では将来を見据えた地域づくりの取組が本格的に動き出します。

令和7年度、牧区地域協議会において「今後の牧区のありたい姿」と「そのために行うべき3つの取組」をまとめました（右図）。この3つの取組を推進するため、住民が日頃から顔を合わせ、小さな力を合わせ、行動する関係性を育む場所である「小さな拠点」の整備を検討します。

当研究所としても、地域の現状を知り、将来を考えるためのデータ分析等、様々な面からこの取組を支援します。



■ 「地区まちワークショップ」 in 谷浜・桑取区

合併前上越市の中でも特に少子高齢化が顕著な谷浜・桑取区において、「地区まちワークショップ」を実施します。

人口や介護、医療費分析から見てきた地域の現状や強みを整理しながら、地域が持続可能であるための将来像を考え、移住定住促進に向けたアイデアを検討します。

5月	住民ワークショップ①	地域の現状を把握する
6月	住民ワークショップ②	地域の目指す将来像を考える
7月	住民ワークショップ③	定住を実現するためのアイデアを出し合う
8月	成果発表会	地域の未来について語る

